

第1回陸奥の国のまちづくりワークショップ 意見のまとめ ( )カッコ内はグループ名

項目	良いところ	悪いところ	第1回、第2回勉強会での意見	市民アンケートによる意見
土地利用	土地が広く、安い地価で手に入れることができる(黄・青) 閑静である(黄)	地域ごとの商業拠点が無い(青) 住宅市街地が空洞化している(緑) 中心市街地が衰退している(黄) 土地区画整理事業が行われていない(黄) 土地利用が整序されていないため行き止まり道路が多い(黄) 土地利用の規制が厳しい、独自の考え方があってもよい(黄) 都市計画区域、用途地域はむやみに広げなくていい(黄)	用途地域内の空地が多い(第1回) 農地があっても、むつ市内にその農地を使う人がいない(第1回) 川内・脇野沢は田名部・大湊地区と比べて地域格差がある(第2回)	大畑地区、川内地区、脇野沢地区の役割は「農林漁業の中心的な地区」
中心市街地		中心市街地が消滅している(緑) 商店街がバラバラになっている(緑) 商店街が空洞化している(緑) 商店街がシャッター通りとなっている(青) 若者の遊戯施設がないため、休日等は市外へ人がながれている(緑) 田名部駅が無くなってから、田名部商店街が低迷している(緑) 田名部駅が無くなって街が変わった(緑) 次回以降の検討事項として「中心市街地はどこか？」が挙げられた		田名部地区の役割は「下北半島の商業の中心を担う地区」 「商店街のまち並みがきれい」は評価が低い。
産業(農業・商業・工業)	海洋科学研究所がある(緑) 自衛隊がある(緑) 日本列島の本州の最北端市で、原子力の拠点都市である(緑) 第1次産業では水産業がさかんで多種多量である(青) 夜の町が楽しい(青)	産業が少ない(緑) 雇用が少ない(緑) 若者がむつに戻って働ける場所がない(緑・黄) 【農業】 農業が不振である(青) 【商業】 車のない人が買い物に行ける所がない(青) 毎日の買い物をするとところがない(青) 自衛隊の人たちが遊べるところがない(青) 夜の町が楽しくない(青) 【工業】 家内工業程度はあるが大きな事業所はない(青)	地元で農業以外の職場が少なく、若い人たちが地元に戻ってこない(第2回) 就業先が減っていると感じる(第1回)	「自動車を利用した買い物が便利」は評価が高い。 「働く場所としての工場・事業所などが十分にある」は特に評価が低い。
公園・河川・下水道など	公園がきれいに整備されている(緑)	都市としての社会資本が未整備である(青)	公園等を整備してもあまり利用されていない(第1回) 下水道事業が進んでいない(第1回)	「水害を防ぐための河川や水路が整備されている」は評価が高い。
道路	市内の道路は比較的整備されており、冬期の除雪もよく実施されている(緑)	道路整備が進んでいない(緑・黄・青) 住宅地の道路が行き止まりになっている(緑) 市街地内の水田でミニ開発が行われ、行き止まり道路が多い(緑) 生活道路が整備されていない(緑) 都市計画道路が整備されていない(緑) 地域間道路が整備されていない(緑) 歩道のない道路が多い(緑) 側溝の未整備が多い(緑) 青森市との行き来がしやすい道路がない(青) 第1次産業のための流通路が十分に確保されていない(青)	道路がなかなか広くならない(第1回) 長期に渡って整備されていない都市計画道路がある。(第1回)	「歩道が整備されており安心して歩ける」は評価が低い。
公共交通機関		鉄道やバスが不便。循環バスが必要(黄) 田名部のバスターミナルとJRの駅が遠いので、下北駅をターミナル化して欲しい(黄) 下北交通とJRバスの連携(乗り継ぎ)が悪い(黄) バスの運行本数が減少し、買い物などの移動が不便(青) JR大湊線が強風により、よく止まるため使いにくい(緑・黄) まちなかを含め、交通が不便である(緑) 半島であるがため、開発に重要な交通体系の整備が遅れている(緑) 自動車がないと生活できない(緑) 大都市へのアクセスの整備の遅れが、生産地の形成を阻害している(緑)	中心部に行く路線バスが不便である(第1回)	「路線バスや鉄道を利用した行動が便利」は評価が低い。 大湊地区の役割は「広域的な交通の結節を担う地区」

項目	良いところ	悪いところ	第1回、第2回 勉強会での意見	市民アンケートによる意見
公共公益施設		都市計画区域以外に公共施設が移転している(緑) 市役所の跡地が利用されていないなどの市街地内の拠点づくりに計画性がない(緑) 医療施設が質、量ともに不足している。高度医療施設の充実とそこに至る道路整備が必要(黄) 原燃施設を観光面でもっと生かすべき(黄) 海上自衛隊施設やOBの方を活かして、海洋面での活性化が図れないか(黄) 新むつ市全体を考えた施設の配置ができないか(黄)		「子育て支援施設が整備されている」は評価が低い。
自然環境	釜臥山がある(緑) 公害が少ない(緑) 自然と水が豊富(緑・青) 海の幸と山の幸が多い(緑) 温泉が多い(緑) 自然に恵まれていて、食料供給の出発点である(緑) 森林の可能性もある(緑) 星空、夜景がきれい(緑・黄) 周辺に自然が多い(緑) 海洋資源の可能性もある(緑) 空気がおいしい(黄) 海や山が近く、食べ物が新鮮でおいしい(緑・黄) 四季がハッキリしており、気候がよい(黄)			「海・山・川・農地などの自然が昔と変わらず残っている」は評価が高い。
観光・イベント	歴史がある(緑) 田名部まつりが素晴らしい。子供からお年寄りまでが参加して地域のつながりを感じられる(黄) 【固有の観光資源】 恐山(黄青) 奥内歌舞伎(黄) 体験観光ツアー(青) 地酒(青) 水産物(青)	恐山等の観光客を市内にとどめられない(緑) 下北以外から観光客を呼ぶためのPRが不足している(黄) むつ市の特産物などを全国にアピールするソフトが整っていない(青) 地域をアピールするハードはあっても、ソフトが不足している(青) 「下北でしか手に入らない」というものがない(青) 家族連れで遊べるような複合的な施設がない(青) メディア等を使ったPRが不足している(青)	地区内に観光資源はいっぱいあるが十分に活用されていないのでPR方法に工夫が必要である(第1回) 観光資源は確かにあるが、それを活かして地域を活性化させようという動きはあまり見られない(第2回)	「観光施設が十分に整備されている」は評価が低い。
人口・コミュニティ	人口が少ない(緑) 人情に厚い(緑) 犯罪が少ない(緑)	人口が減少している(緑) 人口減少が目立っており、世帯の収入も減少しつつある(青) 人口増加につながる社会資本が整っていない(青) 今後の人口減少を考慮したまちづくりが必要(青) 合併後の町が1つにまとまっていない(緑) コミュニティが壊れかけている(緑) 他人の足を引っ張ることが多い(緑) 昔に比べて労働力が減っている(黄)	将来の人口減、高齢化を踏まえたプランづくりが必要である(第1回) 都市計画マスタープランに人口減少、高齢化をどのように踏まえていくのかが重要である(第2回)	
その他	人柄がよい(黄) 住みやすい(黄) 食糧品は100%の自給率である(青)	財政が逼迫している(黄) 街路樹の清掃など地域のリーダーが不在である(黄) 地域の住民性の問題がある(黄)	合併時に策定されたまちづくりの計画を検証する必要がある(第1回) これまでに策定された計画にある将来像を、今後の計画に継承していくべきである(第1回) 過去のまちづくりの計画が進んでいない。市の施策が実行されていない(第1回)	むつ市の将来イメージ ・健康、福祉が充実したまち ・中心商業地、商店街に賑わいのあるまち ・道路や歩道が充実したまち